

- 江府町の特別栽培米グループを対象に、全国で通用するブランド化による米産地の活性化と生産者の所得向上を目的に活動を進めた。
- グループが結成された当初から活動支援し、平成28年からは食味値の高位安定や全国レベルの米コンテスト出品への支援などを進めた。
- 米コンテストでの上位入賞などによって知名度が向上し、生産者の自信と誇りが高まり、米産地が活性化しつつある。

具体的な成果

1 米の食味値の向上(約2ポイント上昇)

表1 平均の食味値 単位:ポイント

品種	H29	H28
コシヒカリ	84.9	83.3
きぬむすめ	86.5	84.3



写真1 使用した食味計
(機種:サタケRCTA11A)



写真2 対象水田

2 全国米コンテスト入賞(主なもの)

【米・食味分析鑑定コンクール・国際大会】

- ・平成26・27年 環境王国部門 金賞
- ・平成28・29年 都道府県代表 金賞

【お米日本一コンテストinしずおか】

- ・平成26、29年 入賞
- ・平成28年 最高金賞

奥大山の豊かな自然と名水を活かし
全国に通用する**プレミアムな米づくり**

3 低収事例の収量向上

・A氏の反収 4俵 → 9俵に改善

普及員の活動内容

1 食味値向上のための指標作成

- 平成26～28年 生育調査
- 平成28年 葉色の指標作成
- 平成29年 生育調査と指標の適応性確認
- ※調査は町やJAと実施した。

2 現地巡回

- 平成26～29年 6月下旬から7月上旬に生産者と関係機関とで現地巡回を行い、生育状況の確認と今後の管理法を話し合った。

3 全国コンテスト支援

- 平成25～29年 写真1の食味計を使用して食味値測定を行い、出品物を選考する際の支援を行った。

4 低収量事例に対する収量向上支援

- 平成28～29年 栽培管理自己点検表の記入によって低収量の原因を気づかせると共に現地での対話を粘り強く行った。

今後の普及活動に向けて

1 所得の向上について

- 残された課題として、経営調査を行いながら所得向上の条件を明らかにし、魅力のある水田営農モデルを提案していきたい。

2 水稻の収量向上について

- 今回の事例に限らず水田農業の担い手の収量向上対策は必須であり、低収量の経営体を対象に、栽培管理自己点検表を活用し所得向上を図っていきたい。